

「木の「声」に耳を傾け
材に愛情を注ぎながら
伝統を継承する匠。」



山内建匠 有限会社
山内 清視
Kiyoshi Yamauchi



居室がつながる平家

山並みを望む住宅街にある緑の瓦屋根をもつ平家は、“木と氣のスペシャリスト”である山内社長への絶大な信頼のもとに計画された住まい。「各社の施工例を見ましたが、山内社長の手がける住まいはどことも違う、木材の使い方が圧巻でした」と話すご主人。昔ながらの古民家のように、建具を開け放せば部屋同士がつながりをもつ建物を…との要望に応じて、間取りは大空間のLDKを中心に居室を配置。またダイニング部分のみ吹き抜けとしたが、これは着工後に「吹き抜けを取り入れたい」という要望が出たため急遽変更した箇所。こうしたオーダーにも迅速に応えた。その結果、檜や松の梁があらわしとなり、Mご夫妻は日々、その姿に満足感を得ている。回遊できるキッチンに水まわりや勝手口を近接させ、家事のストレスも軽減させるなど暮らしやすさにも十分に配慮されている。



モダンとトラディショナルが巧みに融合。



01_光を取り込む大開口を設けたLDK。各居室はすべてここにつながっている。02_あえて昔ながらの様式を重んじた意匠を採用した和室。天井は葺張りとなっている。03_住宅街の入り口にあり、周囲からの視線を集める立地。のどかな景観に馴染むよう緑の三州瓦を屋根に乗せ、外壁もグレイッシュなニュアンスカラーでコーディネート。04_玄関やキッチンのタイル貼りにも丁寧な職人仕事が施された。05_ダイニング上部の吹き抜けは、あらわしとなった構造材にモダンな照明器具がマッチ。上を見上げると住まいに対する満足感が高まるそう。

[家族構成] 2名
[敷地面積] 255.34㎡(77.24坪)
[延床面積] 96.94㎡(29.32坪)
[工法] 木造軸組工法
[工程] 設計5カ月・施工7カ月

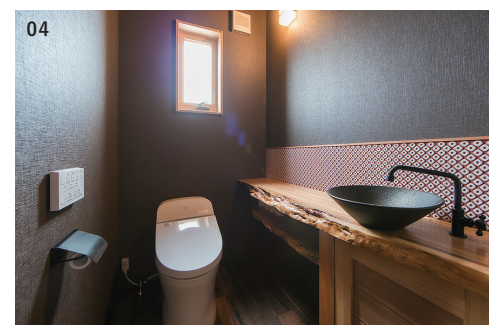


木を通して、 愛情を受け継ぐ家

「思い通りの家を建てたかった」と話す奥さま。無垢材をふんだんに使った山内社長が手がけた住まいに一目惚れしたことから、Oさま邸の計画がスタートした。純和風を好む奥さまに対して、ご主人はモダンなテイストが好き。そこで両者の想いを調整し、木が香る和モダンな平屋へと仕上げた。間取りはお子さんが成長しても顔を合わせることができるように…と玄関を入ると広いLDKがあり、奥にプライベート空間を配置した。またキッチンからは裏動線を設けて、水まわりへと誘導。ここからも各居室に行き来ができる回遊の動線を描いている。また奥さまのお祖父さまから贈られたカイツカイブキの原木を生かしたいという要望に対して、山内社長は玄関の軒の受けやキッチン横の大黒柱に活用。ほかにもテレビを掛ける壁面に施した美しい杉材など、各所に無垢材が使われており、素材感を満喫しながら豊かな暮らしを営まれている。



施された無垢材、家族をつなぐ回遊の動線。



- 01_お祖父さまから贈られたカイツカイブキの柱が、意匠のアクセントとなったキッチン。
- 02_テレビを掛けた壁には杉材を張り、檜の柱を施している。
- 03_高窓の向こうには山並みの景色。ここでも安定した光が差し込むキッチン。
- 04_カウンターは杉の一枚板を贅沢に使用。シックモダンなコーディネートはご主人もお気に入り。
- 05_片流れの屋根に黒を基調とした色合いのファサード。玄関の軒の受けにも2本のカイツカイブキを使用。無垢の柱の連続がアクセントとなっている。

【家族構成】4名
 【敷地面積】473.31㎡(143.17坪)
 【延床面積】105.99㎡(32.06坪)
 【工 法】木造軸組工法
 【工 程】設計6カ月・施工7カ月



山内 清視
Kiyoshi Yamauchi

山内建匠 有限会社

住所 / 新居浜市大生院149-25
 電話 / 0897-41-0755
 メール / yamauchi@kensyou.co.jp

Profile

1964年新居浜市で代々続く大工の家の三代目として生まれる。幼少期から家業を手伝い、木材に触れてきた。90年に二級建築士事務所を設立。95年に山内建匠(株)に改組。設計から大工施工、アフター、修繕、修理工事まで自身で対応する。二級建築士、管理建築士、宅地建物取引主任、福祉住環境コーディネーター、カラーコーディネーター、住宅ローンアドバイザー。

Message

【技の継承】
 地場密着型の「工務店」であることに誇りを持っています。工務店は現場の最前線で働く大工を育て、育てられた大工は技能や技術を継承することで、日本の建築文化を次代へと伝えていきます。山内建匠の家づくりには、三代にわたり受け継いだ「施工の技」と「匠の魂」が生かされています。

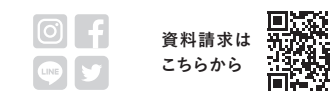
【木の想いを聴く】
 もの言わぬ木々たちは、それぞれが確かな「想い」を持っていると信じています。だから木の声に耳を傾けて、吟味して手加工を行い、その良さを最大限に引き出すことが私の役割だと思っています。日本には四季があり、実に多種多様な“氣”があります。それらの特徴、長所も短所もしっかりと見極めて、意匠を考慮した住まい空間を構築していきます。

Iepro's Idea Source

山歩き



木材が育った環境に興味があり、山に入ります。木の生育環境を理解したうえで、住宅に使うことを意識しています。おかげで葉・皮・幹を見ただけで木種が理解できるようになりました。大工として“原木を見抜く力”を磨きたいと思っています。



資料請求は
こちらから